

ランジス・アラコーン 研究員（スリランカ）



私はランジス・アラコーンと申します。スリランカのプッタラム県にある災害管理センター（DMC）の課長補佐として勤務しています。DMCは、スリランカにおける防災を担う組織で、現在は、防衛省下にあります。2018年からDMCで勤務を始め、それ以前の5年間は防災省の国家災害救援支援センターで災害救援支援担当官として防災の経験を積みました。私は2009年にスリランカのスリジャヤワルダナプラ大学を卒業し、地理学の学位を取得しました。その後2018年にペラデニヤ大学においてGISとリモートセンシングの修士号を取得しました。またJICAのヤングリーダー防災研修も受講しました。

現在、DMCの課長補佐として、プッタラム県の災害予防・対応・減災活動や、訓練・意識啓発といった仙台防災枠組のターゲット達成に向けた活動を担当しています。

ADRCのVRプログラムは、日本における災害対策や防災活動について学ぶ貴重な機会を与えてくれます。日本の防災における役割は大変重要で、これまでに大災害と対峙した数多くの経験や学びがあります。日本滞在中には、洪水への緊急対応や復興計画への備えについて、我が国での国家、地方レベルでの災害対応や復興計画作成に役立てたいと思います。このような機会を与えてくれた日本政府、ADRC、スリランカ政府、DMCに感謝いたします。